

質問回答

2013年9月5日

「ミャンマー国通関電子化を通じた税関近代化支援計画準備調査(ファスト・トラック制度適用案件)」

(公示日 : 平成 25 年 8 月 26 日 / 公示番号 : 1) について、業務指示書に関する質問と回答は以下のとおりです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	第1 指示書の適用 - 第 7 見積価格及び内訳書	業務指示書上、一般業務費の定率化を適用する旨は明示されていませんが、この場合でも過去の類似業務に基づき定率方式を採用・提案することは可能でしょうか。	本件は一般業務費の定率化方式は適用とはなりませんので、左記提案は認められません。よって、必要な経費について費目・単価・数量をそれぞれ記載し、見積額を算出してください。
2	第2 業務の目的・内容に関する事項 - 5. 実施方針及び留意事項(1)	左記項目内で、「2 回の現地調査を予定している」と記載されていますが、一方で、P.8 2.調査実施スケジュール(全体) 図表内では現地調査は4 回行う様指示されているように読み取れます。現地調査の実施回数は何回でしょうか。	p.8 2.調査実施スケジュール図表が正しく、現地調査回数は4 回を予定しています。
3	第2 業務の目的・内容に関する事項 - 5. 実施方針及び留意事項(2)	調査にあたり、ワーキング・グループの活動状況・検討状況の情報収集・記録を行ったうえで概略設計に反映させる旨記載されていますが、「活動状況・検討状況の記録」とは具体的にはどのような業務が想定されますか。ワーキング・グループへの同行及び同記録作成が想定されているのでしょうか。	ワーキング・グループと協働し、ラップアップ等の協議に参加したうえで、本準備調査における設計・積算に必要と思われる情報について記録・とりまとめをすることを想定しています。

4	第3 業務実施上の条件 - 1. 業務工程計画(案)	2014 年2 月上旬に第二回現地調査実施することを想定している旨記載がありますが、スケジュール上は第2 回現地調査は11 月中旬に実施するように読み取れます。第2 回～第4 回の各現地調査のスケジュール感(時期、実施期間)の想定をお教えてください。	上記と同様、調査期間中、計 4 回の現地調査を予定しており、想定される時期は以下のとおりです。 第 1 回:2013 年 10 月上旬 第 2 回:2013 年 11 月中旬 第 3 回:2013 年 12 月中旬 第 4 回:2014 年 2 月上旬
5	第3 業務実施上の条件 - 3. 業務量の目途と業務従事者の構成(案)	業務従事者の構成として1) - 4)が示されていますが、4)のみについては格付けの記載がありません。4)については特段格付の指定はなく、当方が適切と考える人員を提案すればよいとの理解でよろしいでしょうか。	ご理解の通りです。
6	第 3 業務実施上の条件 - 3. 業務量の目途と業務従事者の構成(案)	本件の業務従事者の構成は、業務主任/システム設計1、 通関業務計画、 システム設計2/積算、 機材計画/調達計画/積算で13.86MM となっていますが、この中での業務分割、及び兼務は可能でしょうか。	業務分割及び兼務は可能です。業務内容及び業務工程を考慮の上、より適切な構成がある場合は、プロポーザルに理由を含めて提案してください。

以上